

さいたま市議会

市民の皆様の声を反映した豊富な実績を紹介!



「さいたま市」誕生から今年で13年目を迎えます。市議会公明党は、一貫して市民目線に立った提案を重ねてまいりました。

乳幼児に絵本を贈呈する「ブックスタート」、小学校下校時の防災無線による見守り放送、高齢者の皆様への長寿応援ポイントや緊急時安心キット、救急隊がタブレット型情報端末を持ち短時間で搬送先を

確認する救急医療情報システムなど、生活に根ざした具体的な実績は、公明党議員に寄せられたご意見やご相談の中から実現してきたものばかりです。

市議会公明党の活動は、市民の皆様と語り合うことから始まります。今後とも、皆様のご意見・ご要望を公明党議員にお寄せ下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

宮澤則之議員、井上伸一議員が2月定例会で代表質問をおこないました

防災・減災と食物アレルギー対策を進めよ!



井上伸一議員は、防災・減災対策として災害時に防災拠点となる地域の道路陥没を未然に防ぐために、地中の空洞化検査の実施を提案し、実施に向けた前向きな答弁を引き出しました。

また、学校給食の食物アレルギー対策については、医師会と協力し、負荷試験を用いた正確なアレルギー診断による適切な対応と、市内の医療施設でも実施されている経口免疫療法による食物アレルギーの改善の推進とともに、児童の健康を守るために助成金制度の導入を提案しました。

全国のモデルとなる高齢福祉社会の構築を!



宮澤則之議員は、4月から実施される消費税率アップの負担軽減策として支給される臨時福祉給付金の支給について、対象となる市民に漏れなく実施されるよう取り組むよう求めました。

また、在宅サービスの充実や認知症早期集中支援などの「地域包括ケアシステム」の構築については、最も重要な政策課題の1つとして積極的に取り組むべきであると主張。

さいたま市を全国のモデルとなる高齢福祉社会とするよう、強く訴えました。

平成26年度予算に反映された公明党の提案!

安全・安心

マンションの防災力強化のため 「高層マンション 防災ガイドブック」を配布!

高層マンション特有の長い大きな揺れや電気・ガス・水道などのライフライン、エレベーターの故障などに備える、「防災ガイドブック」を作成し、市内に配布しています。

今後、マンションの管理組合を対象とする防災セミナーなどで活用し、防災・減災対策や危機管理意識の向上をはかります。

さらに、マンション施設を活用した地域との災害協定の推進を図り、地域の防災力の向上をめざします。



(仮称)危機管理センターの整備!

自然災害や事件・事故・感染症などの市民生活をおびやかす危機事案に対し、危機管理体制の拠点施設となる(仮称)危機管理センターが本年12月の運用開始をめざし、整備されます。

あわせて、危機発生時の初動対応を確保するための体制の整備・充実をはかり、市民が安全・安心に暮らせる地域社会をめざします。

子育て・教育

待機児童の解消と 多様な保育サービスの展開を推進!

認可保育所定員	平成26年度:672人増 平成27年度:570人増予定
ナーサリールーム・家庭保育室	平成26年度:200人増
放課後児童クラブ	平成26年度:400人増

保育所待機児童解消のため、今後も民間事業者への支援拡充による認可保育所、ナーサリールーム・家庭保育室の増設をはかるとともに休日・夜間

保育、一時預かりや延長保育・病時保育など多様な保育サービスの拡充をめざします。



学校での自転車安全教育が更に充実!

全市立小学校で「子ども自転車運転免許制度」を引き続き、実施するとともに、市立中・高等学校では「スクエア・ストレイト教育技法」(「ひやっと・ハツト」する場面を体験させることを通じて、交通安全意識の醸成と高揚をはかる)を用いた交通安全教室を、平成26年度には21校で実施予定。

また、あらゆる年代への交通安全教室を通じて、自転車利用者への自転車賠償保険加入推進をはじめ、より一層の交通安全啓発の充実がはかられます。



高齢者

高齢者の生きがい、 健康づくり、 介護予防活動を推進!

高齢者のボランティア活動や生きがい、健康づくり、また、外出機会の増加、閉じこもり防止や介護予防活動の推進のため、シルバーポイント(介

護ボランティア制度、長寿応援制度)やアクティブチケット交付事業が実施されています。



介護ボランティア制度

60歳以上の方の介護施設等でのボランティア活動を推進するため、活動に応じて換金、寄付または商品券への交換ができるポイント制度

アクティブチケット

シルバーポイント事業によりポイントを交換した方や、75歳以上の高齢者等を対象として、市内の公共施設等を無料または割引金額で利用できるチケット

長寿応援制度

65歳以上の方の健康づくりを推進するため、高齢者サロンや健康サークルなどへの参加活動に応じて奨励金に交換できるポイント制度

※問い合わせ:各区役所の高齢介護課まで

障がい者

車いす使用者用駐車スペースの 青色塗装化が実現!

車いす使用者用駐車スペースの適正利用のさらなる啓発をはかるため、市有施設において、本年4月より順次、青色塗装が進みます。

健常者の不正利用の防止や車いす使用者にとってわかりやすい、利用しやすい環境整備が進みます。



リサイクル

使用済小型家電の 回収ボックスを設置! 希少金属を有効活用

希少金属(レアメタルなど)の有効活用に向けて、携帯電話やデジタルカメラなどの小型家電を回収するボックスを区役所をはじめ、公民館や図書館など市内50か所に設置されました。

希少金属の再資源化や最終処分場の延命化も期待され、積極的に市民への周知をはかります。



設置された使用済小型家電回収BOX



救急医療情報システムが4月から運用開始!



公明党さいたま市議団が質問や要望を繰り返してきた救急医療情報システム(救急車にタブレット端末を搭載し、医療機関と救急隊がリアルタイムで最新情報を共有できるシステム)が、本年4月より運用開始となりました。

埼玉県の医療情報システムのもと、市内はもとより県内の医療機関の受け入れ状況が科目別・症状別にわかるようになります。これにより、円滑な救急搬送に繋がると共に、救急医療サービスのさらなる向上をめざします。

さいたま市消防局よりタブレット端末の説明を受ける公明党さいたま市議団

◆議会運営委員会(委員長)
◆総合政策委員会
◆議会改革推進特別委員会

上三信 あきら
【西区】

◆文教委員会
◆決算行政評価特別委員会
◆大都市行財政制度特別委員会
◆議会広報編集委員会

たけやま 広道
【北区】

◆予算委員会(副委員長)
◆市民生活委員会 ◆議会運営委員会
◆見沼田圃将来ビジョン特別委員会
(副委員長)

小森谷 まさる
【見沼区】

◆まちづくり委員会
◆決算行政評価特別委員会
◆地下鉄7号線延伸事業化特別委員会
◆議会広報編集委員会

吉田 ひとし
【岩槻区】

◆保健福祉委員会(委員長)
◆予算委員会
◆大都市行財政制度特別委員会

井上 しんいち
【中央区】

◆まちづくり委員会(委員長)
◆予算委員会
◆議会改革推進特別委員会

宮沢 のりゆき
【大宮区】

◆文教委員会 ◆決算行政評価特別委員会
◆適正な発注制度及び人員配置に関する
調査特別委員会

高橋 かつより
【桜区】

◆予算委員会 ◆市民生活委員会
◆見沼田圃将来ビジョン特別委員会

やなか 信人
【浦和区】

◆総合政策委員会
◆決算行政評価特別委員会
◆適正な発注制度及び人員配置に関する
調査特別委員会

松下 そういち
【南区】

◆保健福祉委員会
◆地下鉄7号線延伸事業化特別委員会

神坂 たつあき
【緑区】